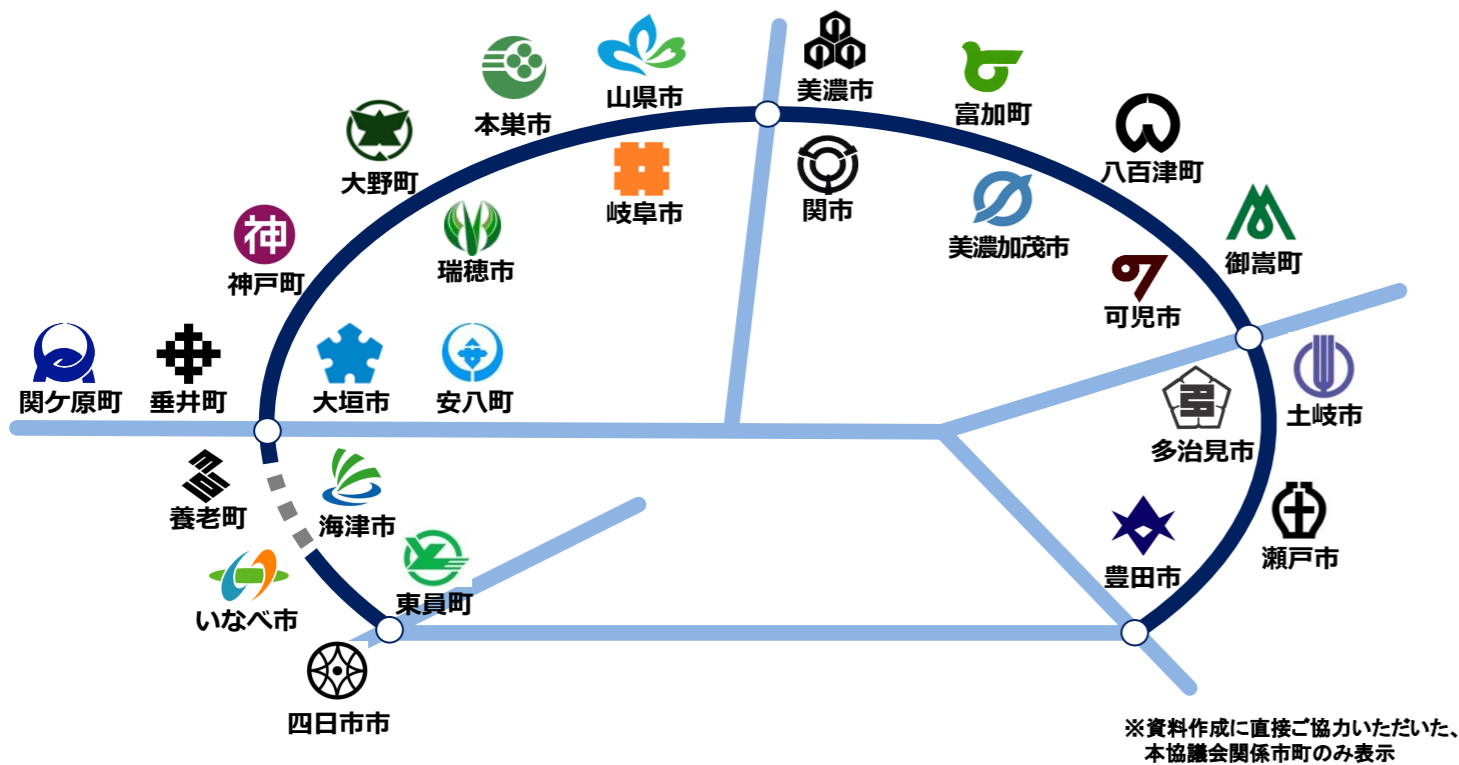


# 国道475号 東海環状自動車道

## 東海環状地域整備推進協議会



※資料作成に直接ご協力いただいた、本協議会関係市町のみ表示



### 東海環状道 東回り20年

『暮らしの礎』  
子孫に引き継ぐストック効果!!

代表理事



岐阜県



愛知県



三重県



名古屋市



(一社)  
中部経済連合会

理事

17市19町1村  
岐阜県商工会議所  
連合会

37市12町1村  
愛知県商工会議所  
連合会

5市5町  
三重県商工会議所  
連合会

オブザーバー



国土交通省  
中部地方整備局



中日本高速道路(株)  
名古屋支社

(令和8年3月作成)

※ストック効果:整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期に得られる効果

## 東海環状自動車道とは

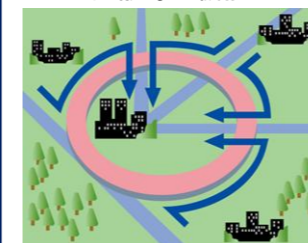
- 国道475号 東海環状自動車道は、愛知県、岐阜県、三重県の3県に跨る延長約153kmの高規格道路。
- 中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化等の様々なストック効果が発揮されています。



1. 東海環状自動車道の概要	2
東海環状自動車道とは	2
東海環状自動車道の沿革	3
開通以来、約4億台が利用	4
2. 東海環状自動車道沿線の状況	5
東海環状自動車道の整備状況	5
3. 東海環状自動車道沿線のストック効果	7
企業活動の向上	7
物流の効率化	9
観光の支援	11
農産業・商業の支援	13
救急医療・災害時の支援	15
地域間の連携強化	17
(参考)20年の道路ネットワークと交通の変化	19

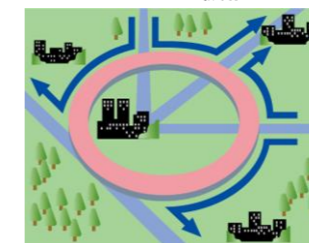
## 環状道路の機能

<分散導入機能>



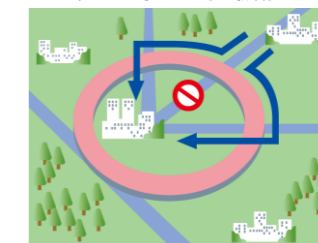
郊外から都心部への交通を分散導入することで、都心部の交通集中が緩和されます。

<バイパス機能>



通過交通の都心部への流入を抑制することで、都心部の交通集中が緩和されます。

<非常時の迂回機能>



災害や事故等による一部区間の不通にも速やかに迂回誘導が可能になります。

- 凡例
- 東海環状道(事業中)
  - 東海環状道(開通済)
  - その他の有料道路
  - 一般国道
- ※ ( ) 書きのIC名称は仮称

# <東海環状自動車道の概要>

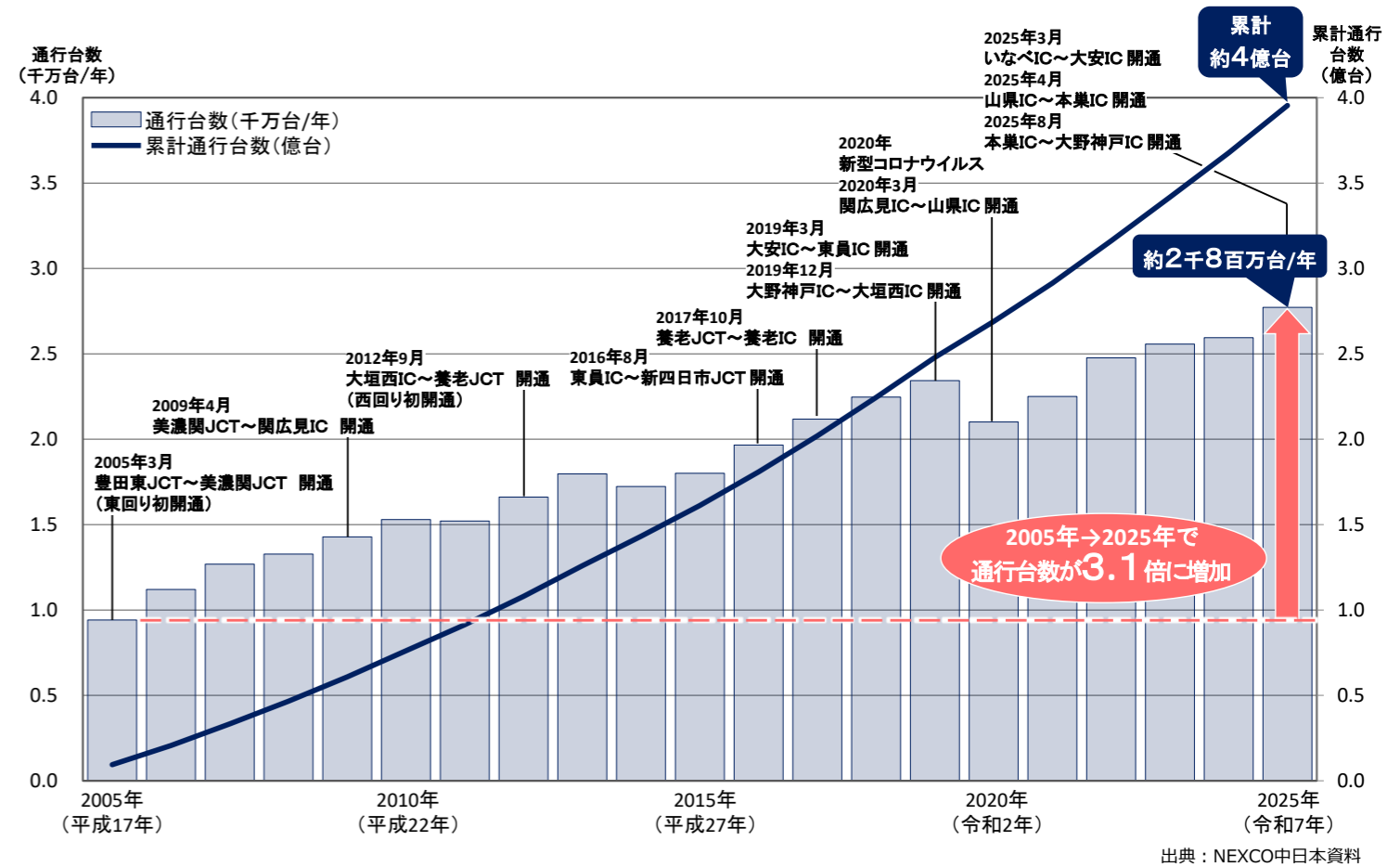
## 東海環状自動車道の沿革

## 開通以来、約4億台が利用

西回り (関広見IC~新四日市JCT)	年度	東回り (豊田東JCT~関広見IC)
	1989(H1)	土岐市~関市 都市計画決定(H1.12)
	1990(H2)	豊田市~瀬戸市 都市計画決定(H3.3) 土岐市~関市 用地取得着手
いなべ市~四日市市 都市計画決定 (H4.1)	1991(H3)	美濃加茂IC 都市計画変更(H4.10) 豊田市~瀬戸市 用地取得着手
いなべIC~大安IC 用地取得着手	1992(H4)	美濃関JCT~関広見IC 用地取得着手
東員IC~新四日市JCT 用地取得着手	1993(H5)	
関市~養老町 都市計画決定 (H8.10)	1994(H6)	1995(H7)
東員IC~新四日市JCT 工事着手 大安IC~東員IC 用地取得着手	1996(H8)	土岐南多治見IC~美濃関JCT 工事着手
	1997(H9)	豊田東JCT~せと品野IC 工事着手 瀬戸市~土岐市 都市計画決定 (H10.4)
大野神戸IC~大垣西IC 用地取得着手	1998(H10)	瀬戸市~土岐市 用地取得着手
養老町~いなべ市 都市計画決定 (H19.4) いなべ市 都市計画変更 (H20.2) 大垣西IC~養老JCT 工事着手	1999(H11)	美濃市~関市 都市計画変更 (H12.4) 豊田東JCT~美濃関JCT 事業許可 (H12.8) * せと品野IC~土岐南多治見IC 工事着手
関広見IC~山県IC 用地取得着手	2000(H12)	
桑名市~いなべ市、四日市市 都市計画変更 (H21.11)	2001(H13)	豊田東JCT~土岐JCT 4車線開通 (H17.3) 土岐JCT~美濃関JCT 2車線開通 (H17.3)
岐阜市~瑞穂市 都市計画変更 (H22.8) (H23.3) 本巣市 都市計画決定 (H22.8)	2002(H14)	美濃関JCT~関広見IC 工事着手
関広見IC~新四日市JCT 事業許可 (H23.6) * 養老JCT~養老IC 用地取得着手	2003(H15)	鞍ヶ池スマートIC 社会実験開始 (H20.2)
大垣西IC~養老JCT 2車線開通 (H24.9) 関広見IC~山県IC、大野神戸IC~大垣西IC 工事着手	2004(H16)	美濃関JCT~関広見IC 事業許可(H20.8)* 鞍ヶ池スマートIC 連結許可・運用開始(H21.3)
養老JCT~養老IC、いなべIC~東員IC 工事着手 本巣IC~大野神戸IC、養老IC~いなべIC 用地取得着手 岐阜三輪スマートIC 連結許可 (H25.6)	2005(H17)	美濃関JCT~関広見IC 2車線開通 (H21.4)
本巣IC~大野神戸IC、養老IC~いなべIC 工事着手 山県IC~本巣IC 用地取得着手 (海津スマートIC) 連結許可 (H26.8)	2006(H18)	五斗蒔スマートIC 連結許可 (H23.3)
東員IC~新四日市JCT 2車線開通 (H28.8)	2007(H19)	五斗蒔スマートIC 運用開始 (H25.2)
養老JCT~養老IC 2車線開通 (H29.10)	2008(H20)	
大安IC~東員IC 2車線開通 (H31.3)	2009(H21)	豊田東JCT 新東名と接続 (H28.2) 美濃関JCT 4車線開通 (H28.3)
大野神戸IC~大垣西IC 2車線開通 (R1.12) 関広見IC~山県IC 2車線開通 (R2.3)	2010(H22)	
	2011(H23)	土岐JCT~美濃加茂IC・SA 速度低下箇所付加車線設置 R4年度から順次供用見込み(工程精査中)
いなべIC~大安IC 2車線開通 (R7.3)	2012(H24)	
山県IC~本巣IC 2車線開通 (R7.4) 本巣IC~大野神戸IC 2車線開通 (R7.8)	2013(H25)	
養老IC~いなべIC 工程精査中	2014(H26)	
	2015(H27)	
	2016(H28)	
	2017(H29)	
	2018(H30)	
	2019(H31・R1)	
	2020(R2)	
	2021(R3)	
	2022(R4)	
	2023(R5)	
	2024(R6)	
	2025(R7)	

○開通後約20年間で、累計約4億台が東海環状自動車道を利用。

### 東海環状自動車道の通行台数の推移



### 2025年の動向

#### <2025年3月29日 いなべIC~大安IC 開通>



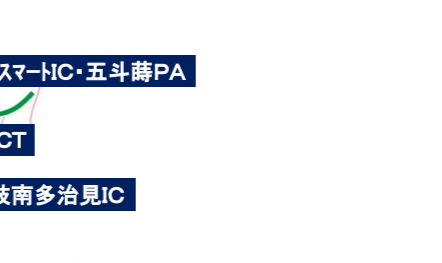
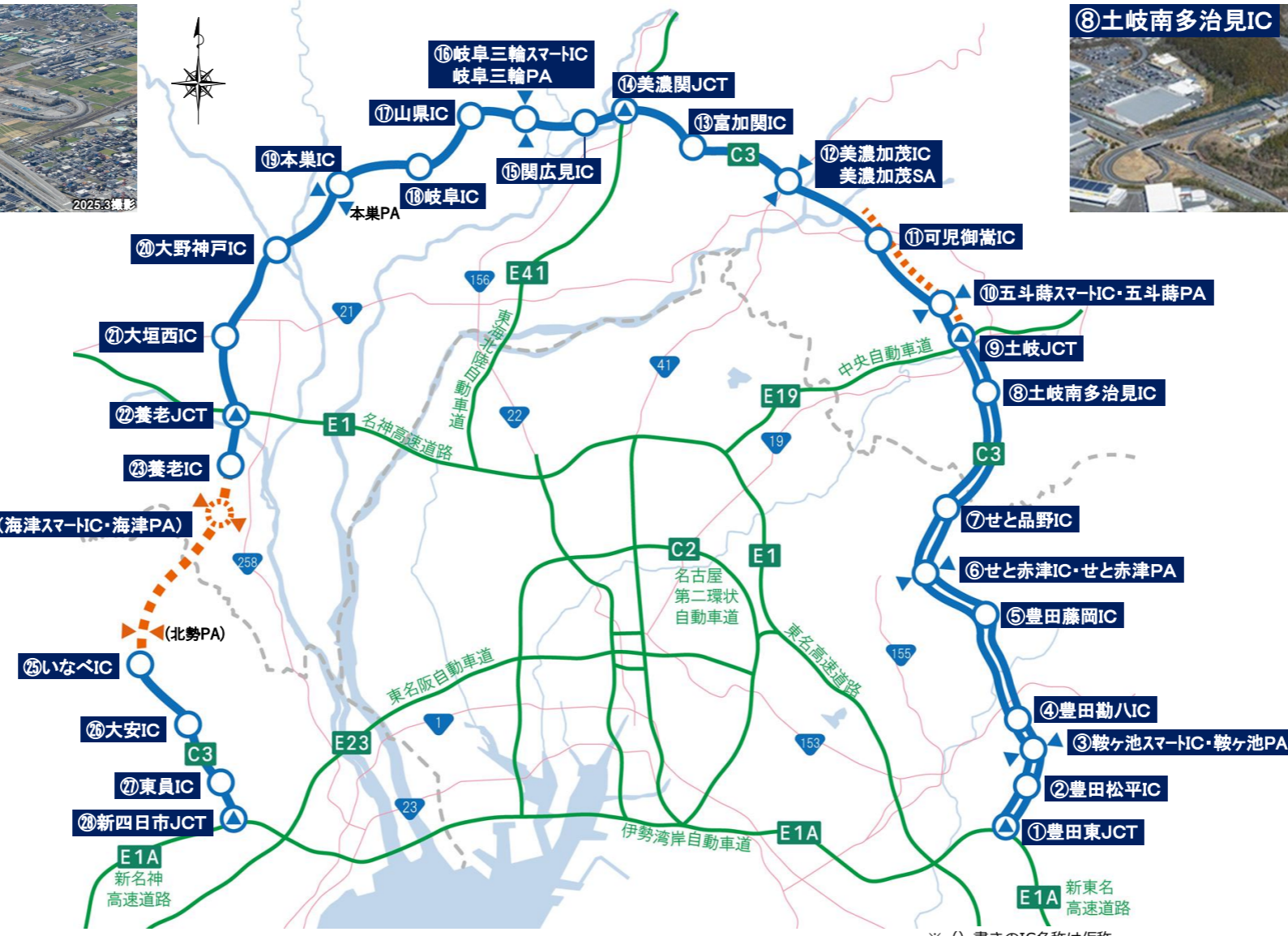
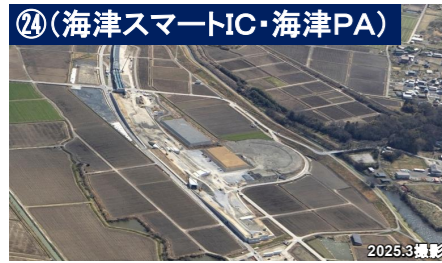
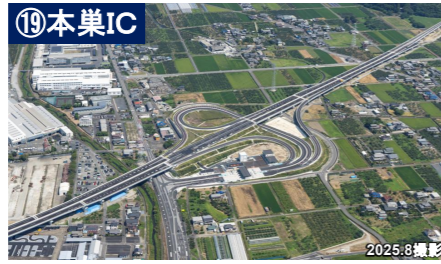
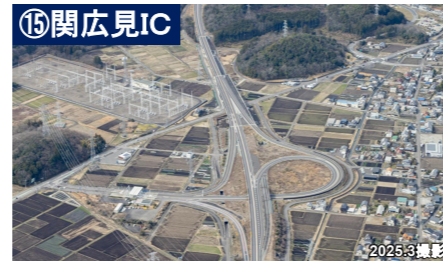
#### <2025年4月6日 山県IC~本巣IC 開通>



#### <2025年8月30日 本巣IC~大野神戸IC 開通>



# <東海環状自動車道の整備状況>



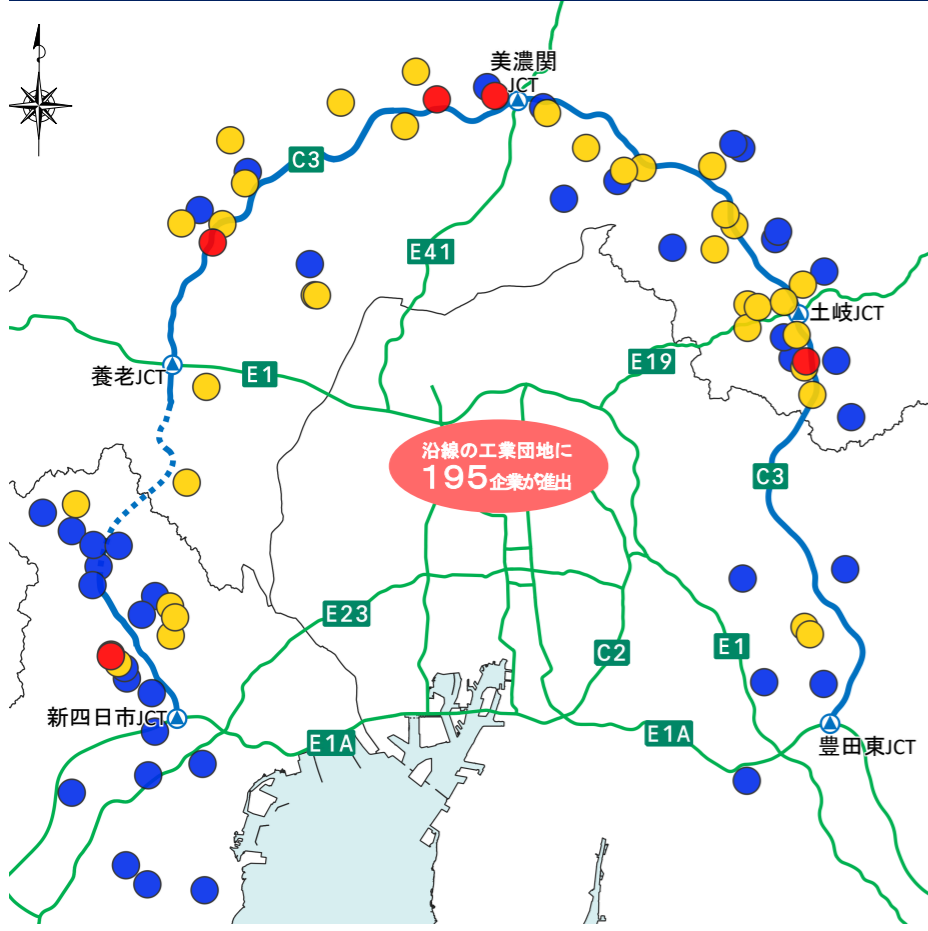
※ ( ) 書きのIC名称は仮称

# <企業活動の向上>

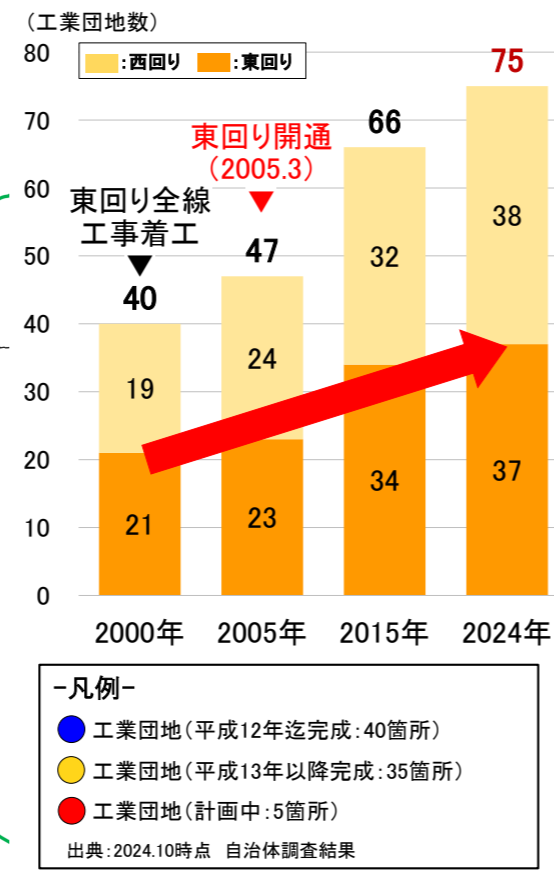
## 沿線地域の産業振興を支援。雇用、出荷額が増加

- 東海環状自動車道沿線では、東回り全線工事着工後、沿線工業団地に**195企業が進出**。
- 東海環状自動車道が民間投資を喚起し、沿線市町では、製造業従業者数が**約3.8万人増加**。
- さらに、**沿線市町の製造品出荷額等は約15.8兆円増加**し、全国平均の伸びを上回る。

### 沿線市町の工業団地の立地状況



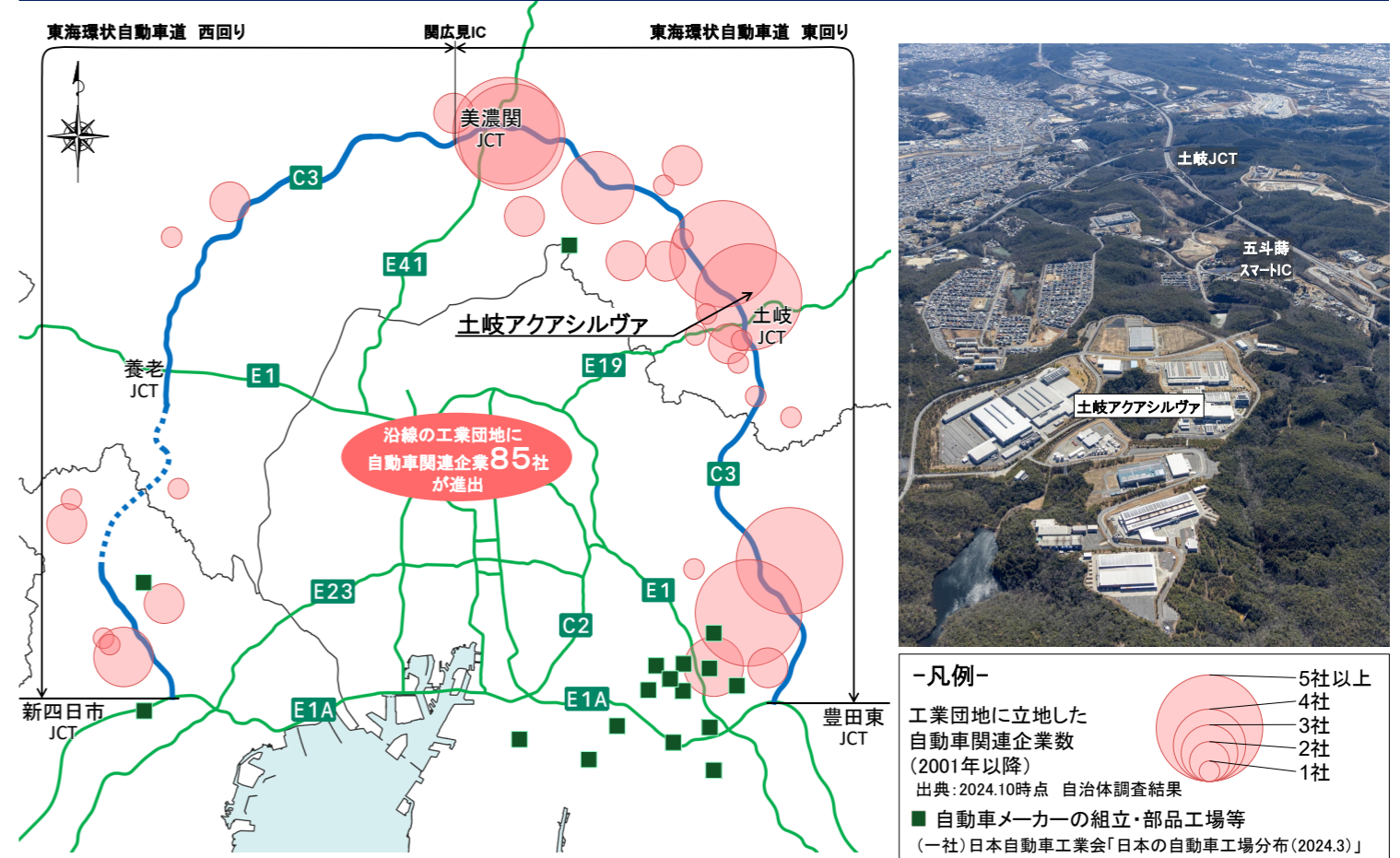
### 沿線市町の工業団地数の推移



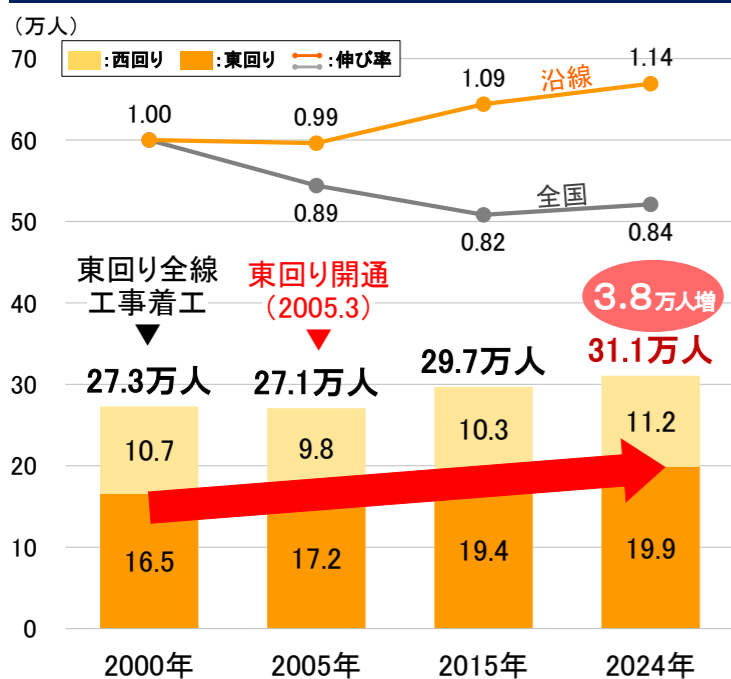
## 自動車産業の集積を支援

- 東海環状自動車道沿線では、東回り全線工事着工後、工業団地に**自動車関連企業が85社立地**。
- 東回り沿線(岐阜県)では、**自動車産業が集積**し、伝統産業と自動車産業の**多軸型の産業構造に変化**。愛知、三重県の地域でも、自動車関連企業の**立地が進展**。
- 西回り沿線(岐阜県)でも、道路の開通を見越して既に立地しており、**多軸型の産業集積に期待**。

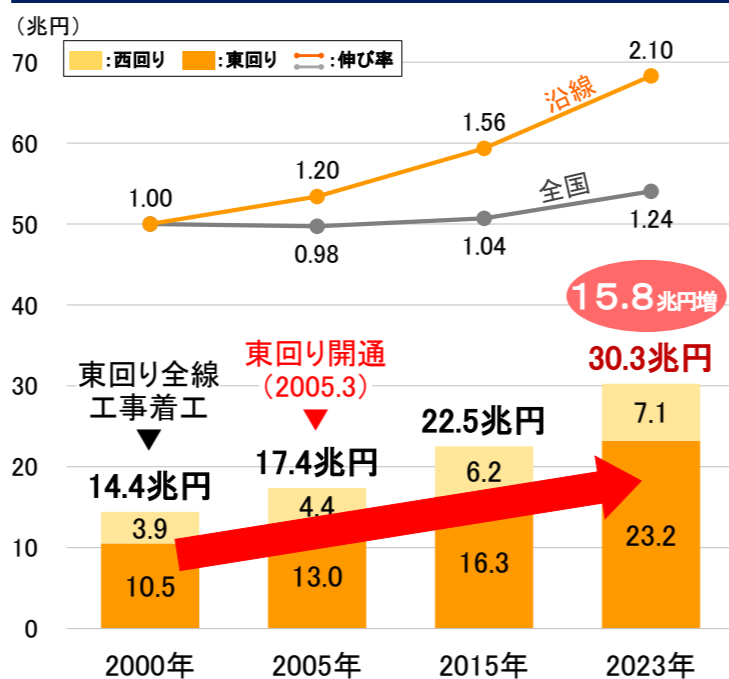
### 沿線工業団地の自動車関連企業の立地状況



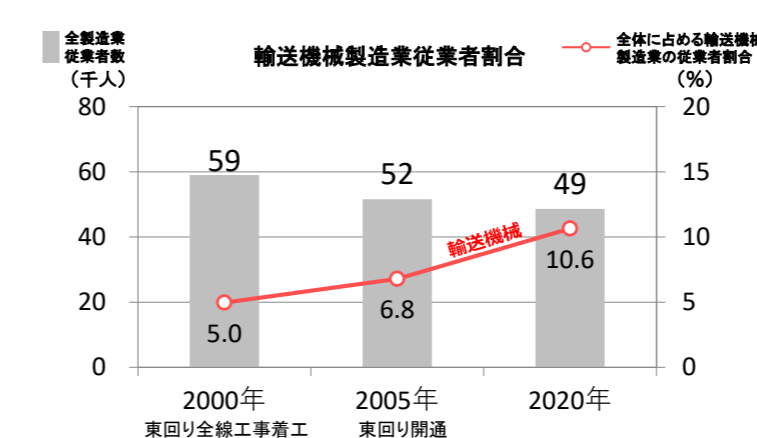
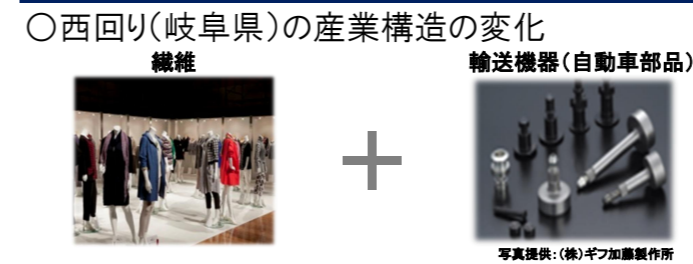
### 沿線市町\*の製造業従業者数の推移



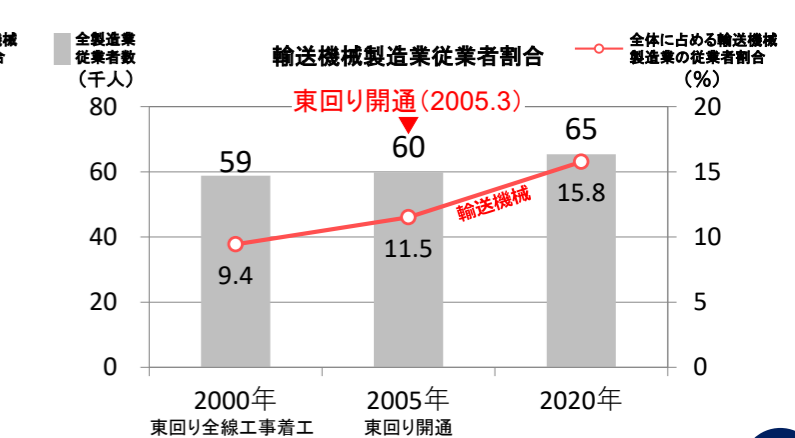
### 沿線市町\*の製造品出荷額等の推移



### 新たな産業集積に期待する西回り



### 自動車産業が集積した東回り



\* 沿線市町: 東海環状道が通過する市町 (東回り: 8市4町、西回り: 7市4町)  
 出典: 経済産業省「工業統計調査」、「2024年経済構造実態調査」より作成

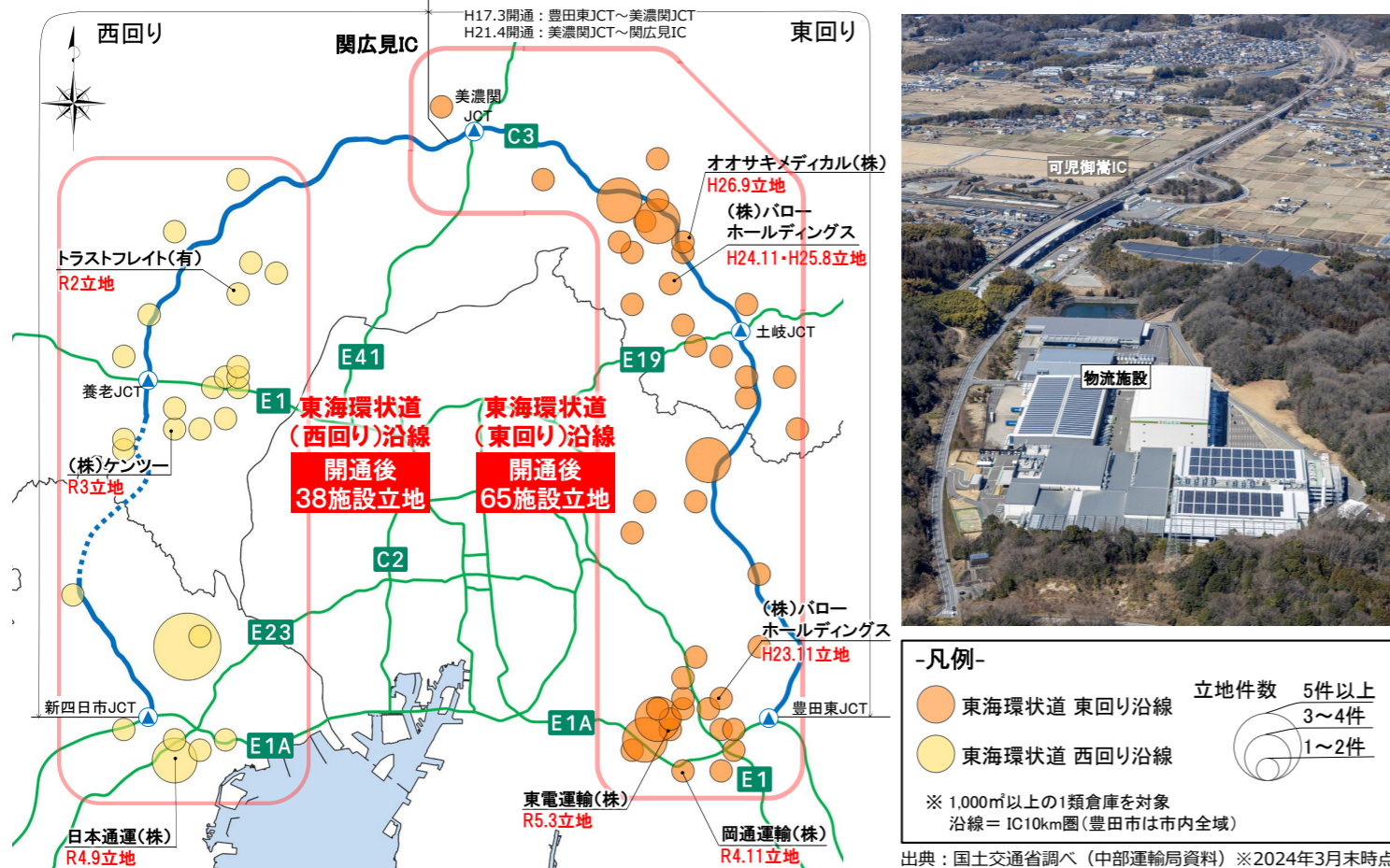
出典: 経済産業省「工業統計調査」より作成

# <物流の効率化>

## 大型物流拠点が続々立地

- 東海環状自動車道(東回り)の開通後、豊田地区及び東回り沿線に新たに65の物流施設が立地。西回り沿線でも、開通を見据え新たに38の物流施設が立地し、更なる物流の効率化に期待。
- (株)パローホールディングスは、物流センター間の移管物流業務や各店舗への商品配送業務が効率化・短縮化。オオサキメディカル(株)は、新たな物流拠点を整備し、物流の効率化から物流コストが縮減。

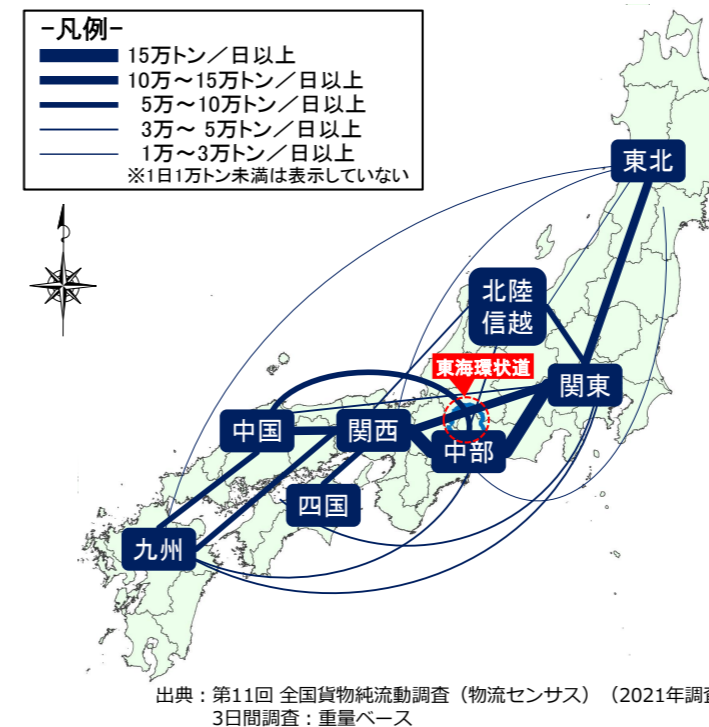
### 東回り開通後の沿線市町の物流施設の立地状況



## 大動脈の中間地点で各方面を結び、広域物流を支援

- 東海環状自動車道は、関東、中部および関西をつなぐ物流の大動脈の中間地点に位置。
- (株)KUBOXTは、2023年7月に大野町に物流拠点を開設。中国・関西方面～関東方面への長距離輸送の中間地点において休憩・休息が可能。翌日、東海環状自動車道を利用して関東・北陸へ移動。

### 地域間の貨物流動量



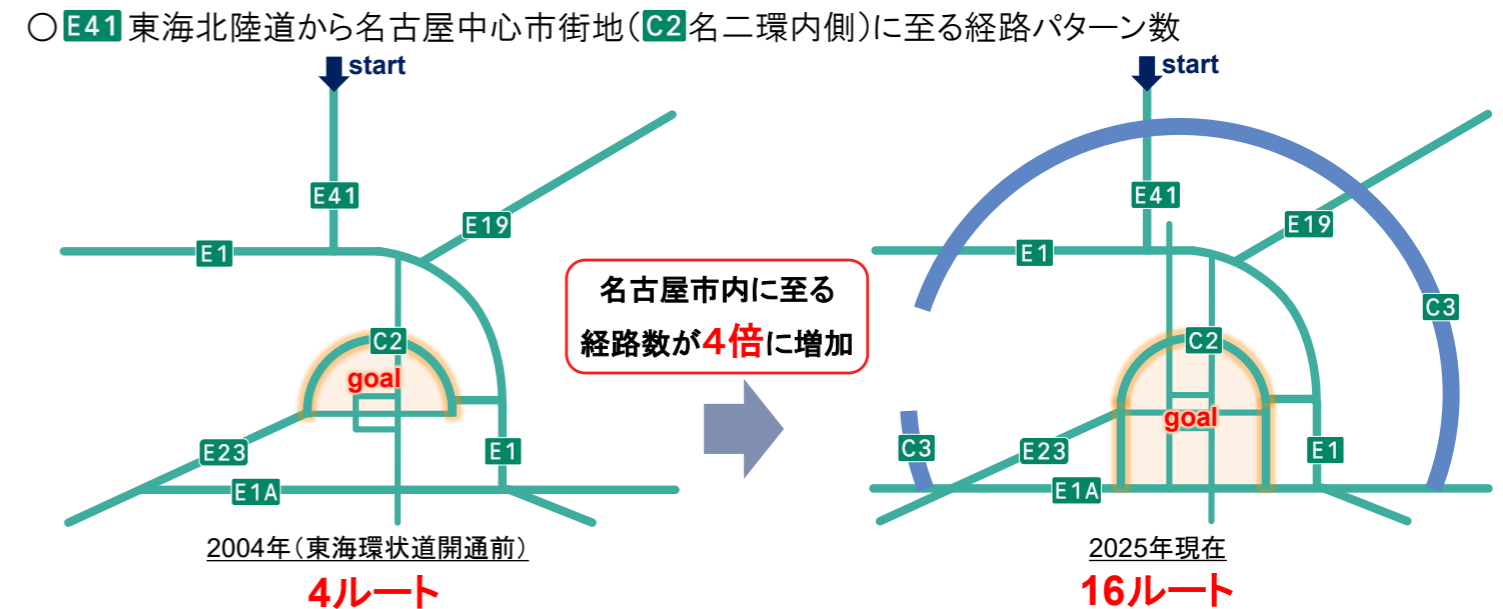
### 東海環状自動車道を利用した物流ネットワーク



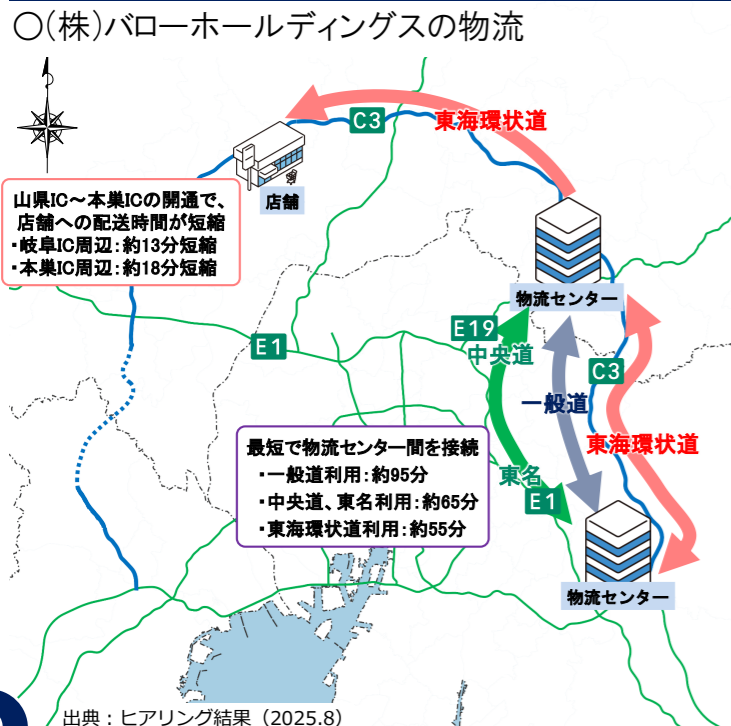
## 経路選択肢が増加し、物流の安定性が向上

- 東海環状自動車道は中京圏の放射状道路ネットワークを結び、広域ネットワークを構築。
- 東海環状自動車道の整備が進み、名古屋市内へ至る経路の選択肢が4倍に増加。
- 混雑や災害リスクの回避が可能になる等、物流の安定化に寄与。

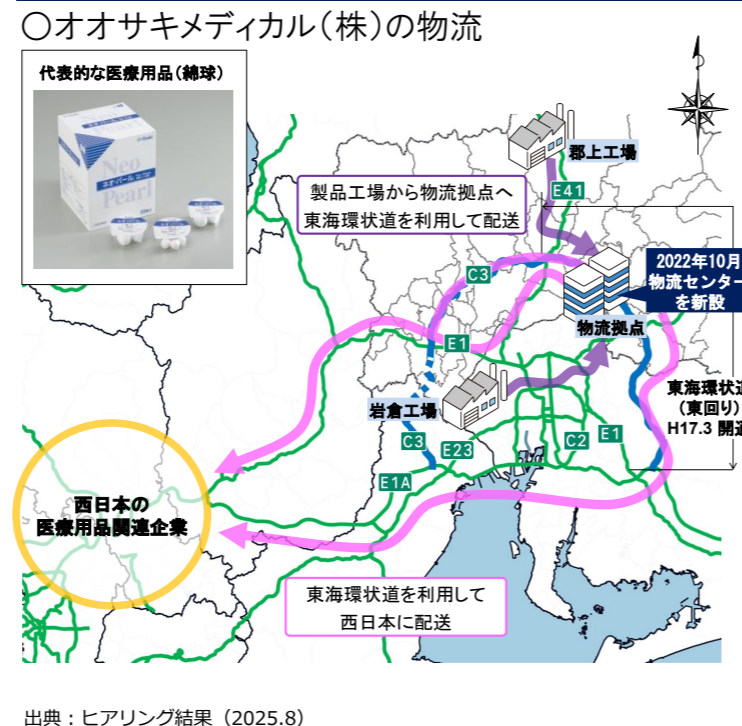
### 環状道路ネットワーク形成による経路数の増加



### 物流業務の効率化・短縮化を図った企業



### 西日本の物流拠点を整備した医療用品製造企業



# <観光の支援>

## 集客力の高い施設が多く立地。回遊性が向上し集客を支援

- 沿線市町ではアクセス向上を見込み、**観光施設の新規立地や大規模リニューアルが活発化**。
- 岐阜県の観光入込客数が多い観光地点の上位10地点のうち、**7地点が東海環状自動車道沿線に立地**。
- 東海環状自動車道と観光施設の整備の進展による**さらなる観光誘客に期待**。

### 沿線の主要観光施設位置図



出典：岐阜県「岐阜県観光入込客統計調査（2020～2024年）」  
愛知県「愛知県観光レクリエーション利用者統計（2020～2024年）」  
三重県「観光レクリエーション入込客推計書 観光客実態調査報告書（2020～2024年）」

### 道の駅 パレットピアおおの



**-凡例-**

- 各県の人気観光施設（2005年以降に開業）
- 各県の人気観光施設（2005年以前に開業）  
※2020～2024年の各年における観光入込客数1～20位に一度でも入ったことがある観光施設（沿線の市町のみ図示）
- IC近傍に立地している、2005年以降に開業した観光施設

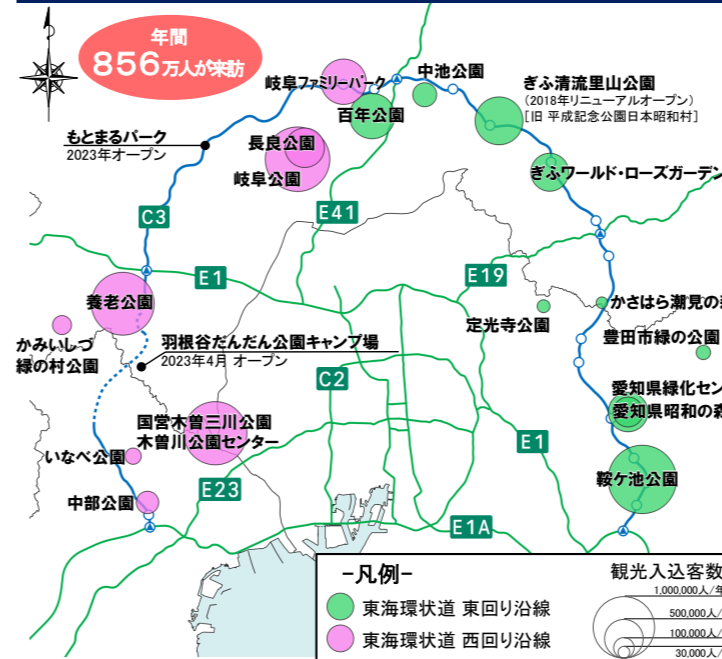
**施設名：観光地点別集客ベスト10（岐阜県）にランクインしている地点**

【沿線市町】  
岐阜県：多治見市・関市・美濃市・美濃加茂市・土岐市・可児市  
東回り区間：富加町・川辺町・八百津町・御嵩町  
愛知県：豊田市・瀬戸市  
岐阜県：大野町・神戸町・本巣市・山県市・岐阜市・大垣市  
西回り区間：養老町・海津市  
三重県：いなべ市・東員町・四日市市

## 都市公園の入込客増加に期待

- 東海環状自動車道沿線には魅力溢れる都市公園が数多く立地。
- 東海環状自動車道沿線では、**年間856万人が来訪**。開通を見据えた新たな公園も整備。
- もとまるパーク、羽根谷だんだん公園など、西回り沿線における**都市公園の更なる活性化に期待**。

### 沿線の都市公園の観光入込客数



出典：岐阜県「令和6年岐阜県観光入込客統計調査」  
愛知県「2024年愛知県観光レクリエーション利用者統計」  
三重県「観光レクリエーション入込客推計書 観光客実態調査報告書 令和6年」

### 西回り沿線の都市公園の期待 もとまるパーク

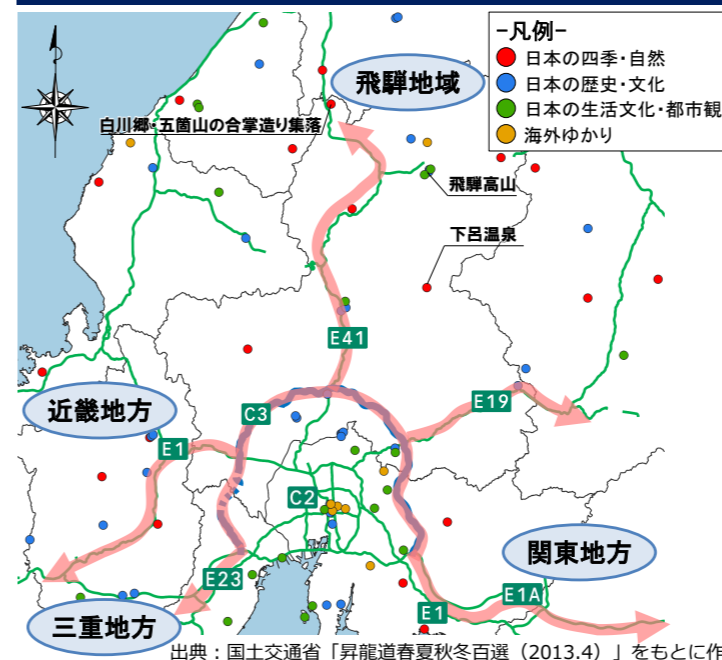
**2025.8.30開業の本巣PAと連結 広域的な利用者増に期待**

写真(左)：本巣市提供資料

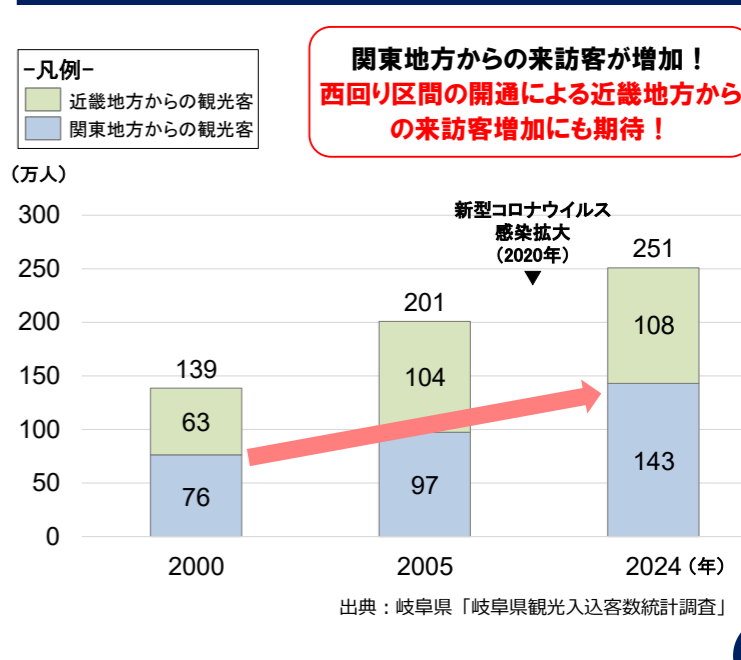
## 主要観光地を結ぶ広域観光の支援

- 東海環状自動車道の開通により、豊田・三河や関東地方から飛騨地域への**経路選択肢が増加**。
- 関東方面からの来訪客数は**増加傾向**で推移。
- 西回り区間の開通による近畿地方などからの更なる**集客エリアの拡大**に期待。

### 東海環状自動車道を軸とした広域観光



### 飛騨地域における関東・近畿地方からの来訪客



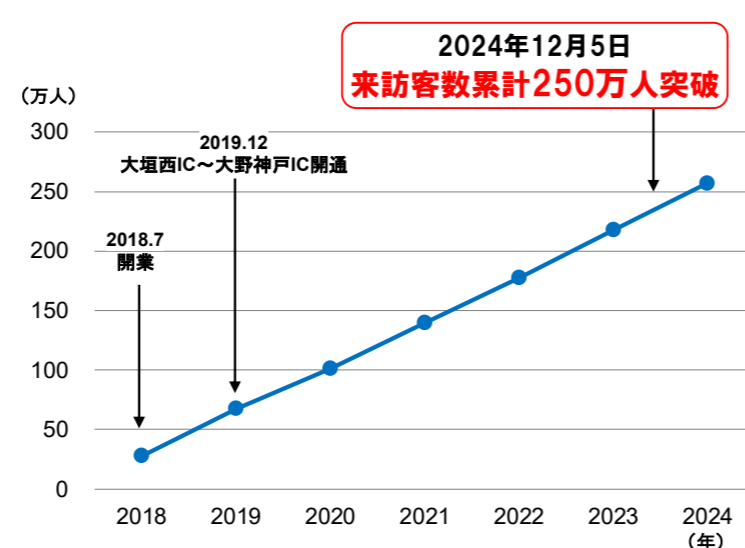
### 観光地点別集客ベスト10(岐阜県)

上位10地点中**7地点**が沿線に立地

順位	観光地点名	市町村	入込客数(万人)
1位	土岐プレミアム・アウトレット	土岐市	477.1
2位	河川環境楽園	各務原市	445.4
3位	高山市街地エリア	高山市	387.1
4位	白川郷合掌造り集落	白川村	200.1
5位	伊奈波神社	岐阜市	179.5
6位	湯の華アイランド	可児市	166.8
7位	千代保稲荷神社	海津市	122.1
8位	岐阜公園	岐阜市	121.9
9位	岐阜メモリアルセンター(世界イベント村ぎふ)	岐阜市	120.7
10位	千本松原・国営木曾三川公園	海津市	116.8

● 東海環状道沿線市町の観光地点

### 道の駅 パレットピアおおの 累計入込客数



出典：岐阜県「岐阜県観光入込客数統計調査（2024年）」

出典：岐阜県「岐阜県観光入込客数統計調査（2018～2024年）」

出典：国土交通省「昇龍道春夏秋冬百選（2013.4）」をもとに作成

出典：岐阜県「岐阜県観光入込客数統計調査」

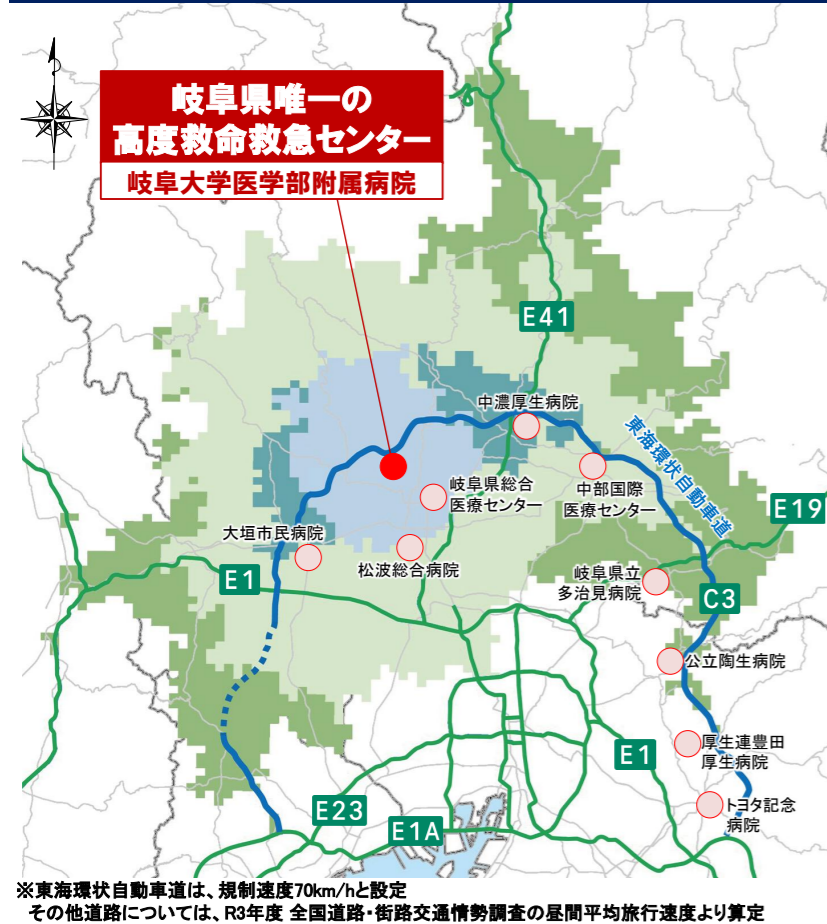


# < 救急医療・災害時の支援 >

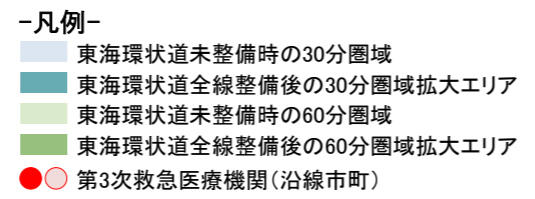
## 高度救急医療を支援

- 岐阜大学医学部附属病院は、岐阜県で唯一の高度救命救急センターであり、**救急医療の『最後の砦』**。東海環状自動車の整備により交通アクセスが向上、時間圏域も拡大し、**病院間の連携が円滑化**。
- 治療開始までの60分間が救命率を左右するため、搬送時間短縮により**高度救急医療を支援**。
- 東海環状自動車道沿線及び飛騨地域の病院が協力し、「**東海環状・飛騨医療ネットワーク**」を締結。

### 岐阜大学医学部附属病院の時間圏域拡大エリア



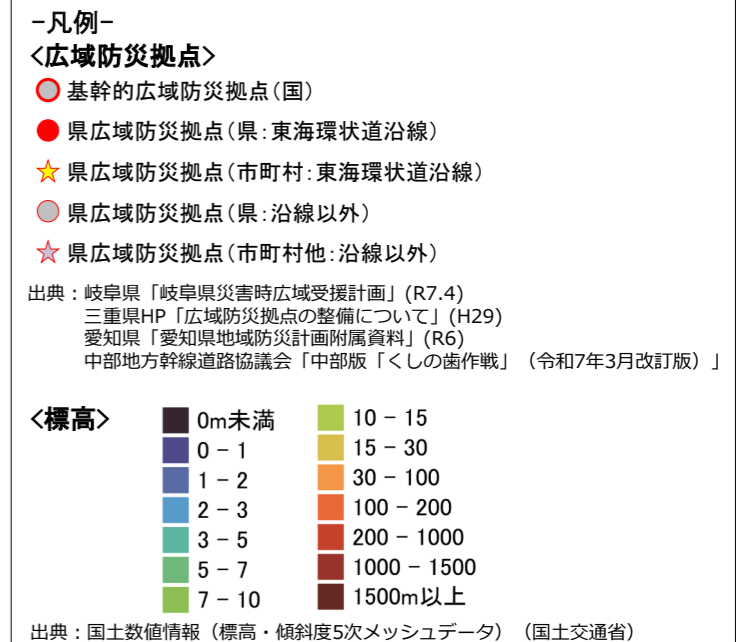
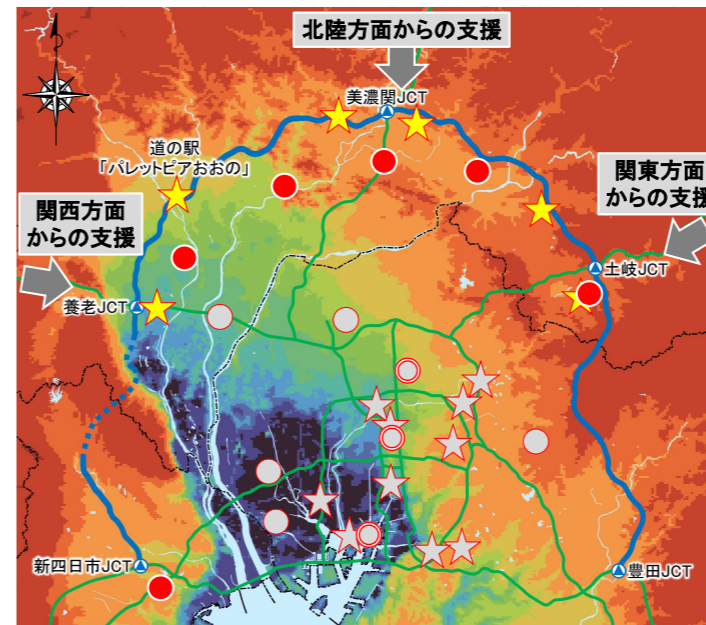
### 岐阜ICと岐阜大学医学部附属病院



## 災害に強い道路へ

- 災害リスクの低い東海環状自動車道沿線では、**広域防災拠点化**が進展。
- 東海環状自動車道は、災害時の支援物資受け入れ、物資集積、応援部隊の活動を支援する路線として期待。

### 東海環状自動車道と防災拠点、海拔ゼロメートル地帯

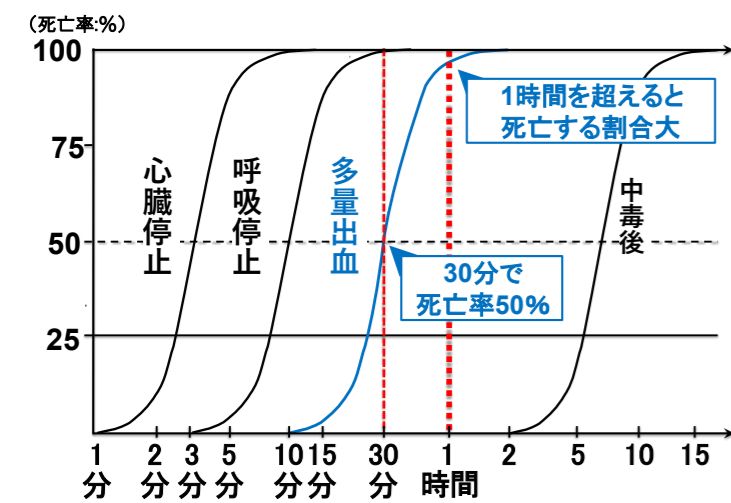


## 災害時の支援

- 平成24年台風16号の大雨による名神高速道路の通行止め時に、東海環状自動車道を**約13百台が乗り継ぎ利用し、迂回路として機能発揮**。
- 令和2年7月豪雨による国道41号の通行止め時に、**美濃地方～飛騨地方間の広域的な迂回路として代替路(無料)措置を実施**。

### カーラーの救命曲線

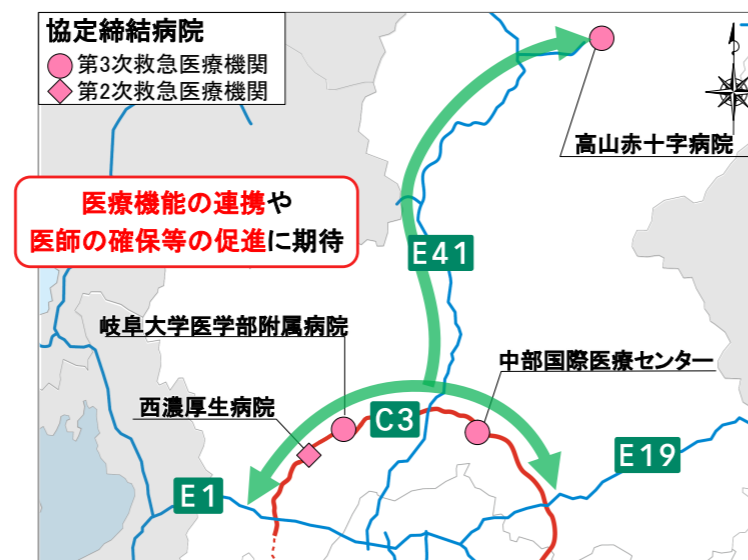
- 心臓停止、呼吸停止、多量出血の経過時間と死亡率の目安



治療開始までの60分間が救命率を左右

### 東海環状・飛騨医療ネットワーク協定

- 東海環状自動車道沿線及び飛騨地域の急性期医療を担う病院が協力し、良質かつ高度な医療を効率的に提供できる医療体制の確保を目指し設立



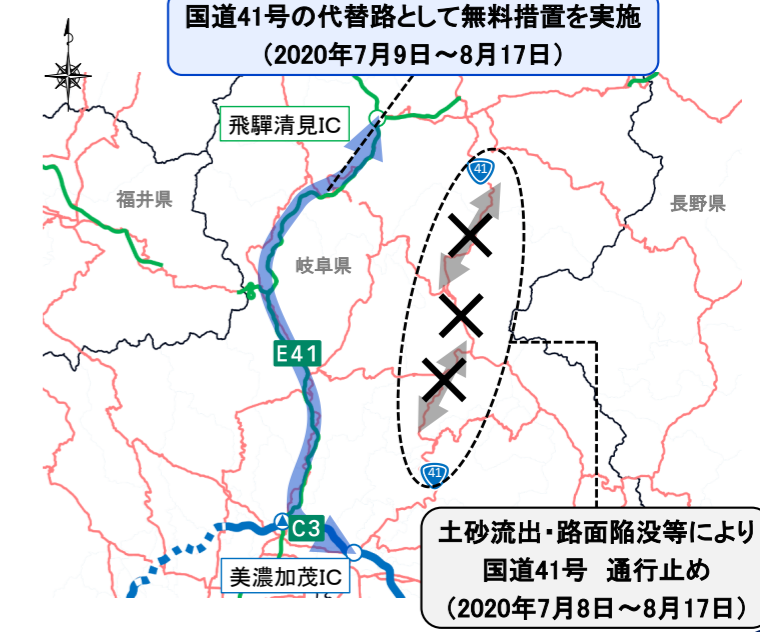
### 名神高速道路通行止め時の迂回利用

- 平成24年(2012年)台風16号



### 国道通行止め時に代替路としての機能を発揮

- 令和2年7月(2020年)豪雨





# <20年の道路ネットワークと交通の変化>

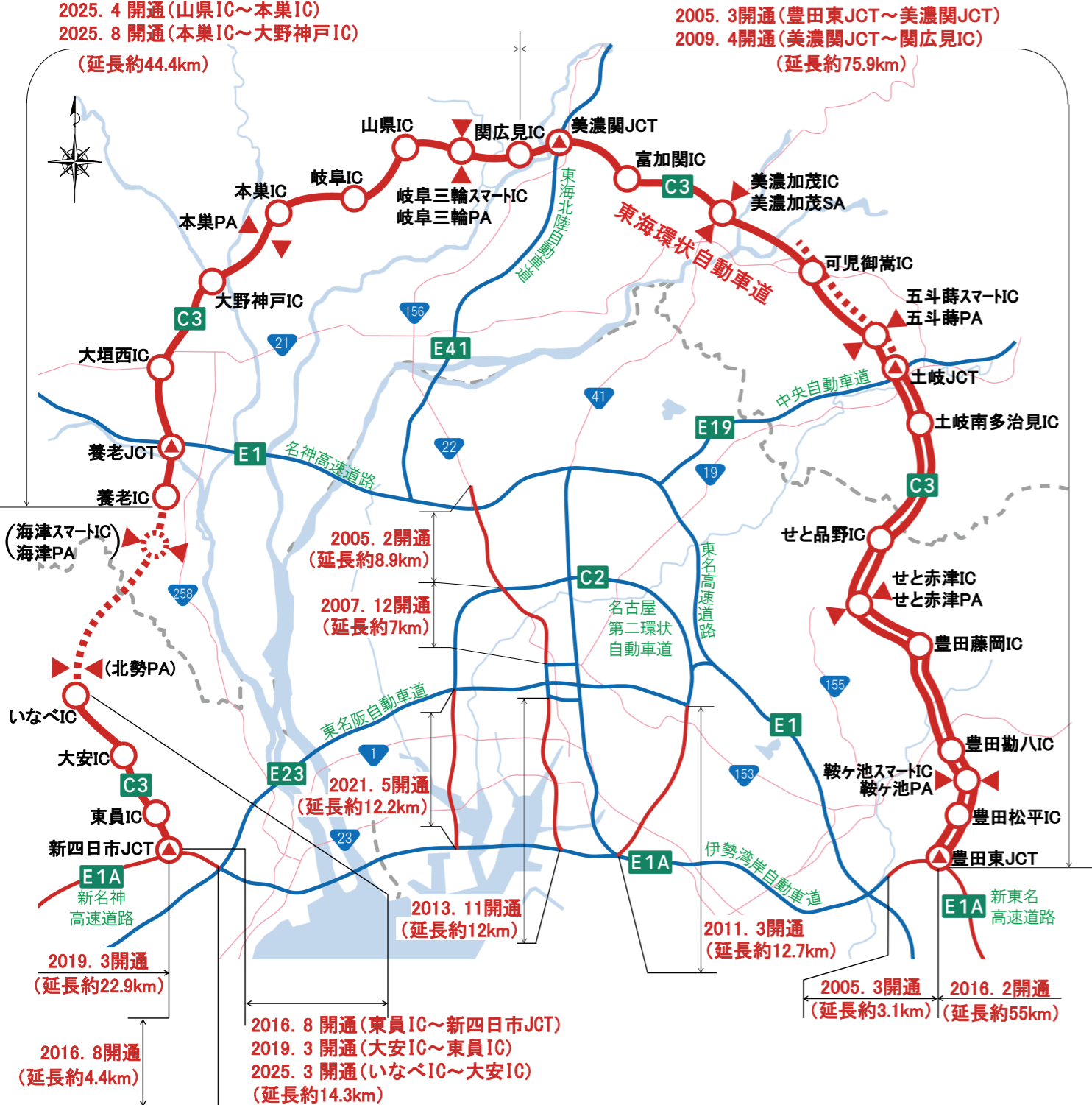
## 20年の道路ネットワークの変化

○2005年(平成17年)~2025年(令和7年)の20年間で、中京圏の高速道路ネットワークは新たに約273kmが開通。うち約135kmが東海環状自動車道。

### 2025年現在の道路ネットワークと20年間の変化

-凡例-

- 事業中
- 2005年1月~2025年現在開通
- 2004年12月時点開通済

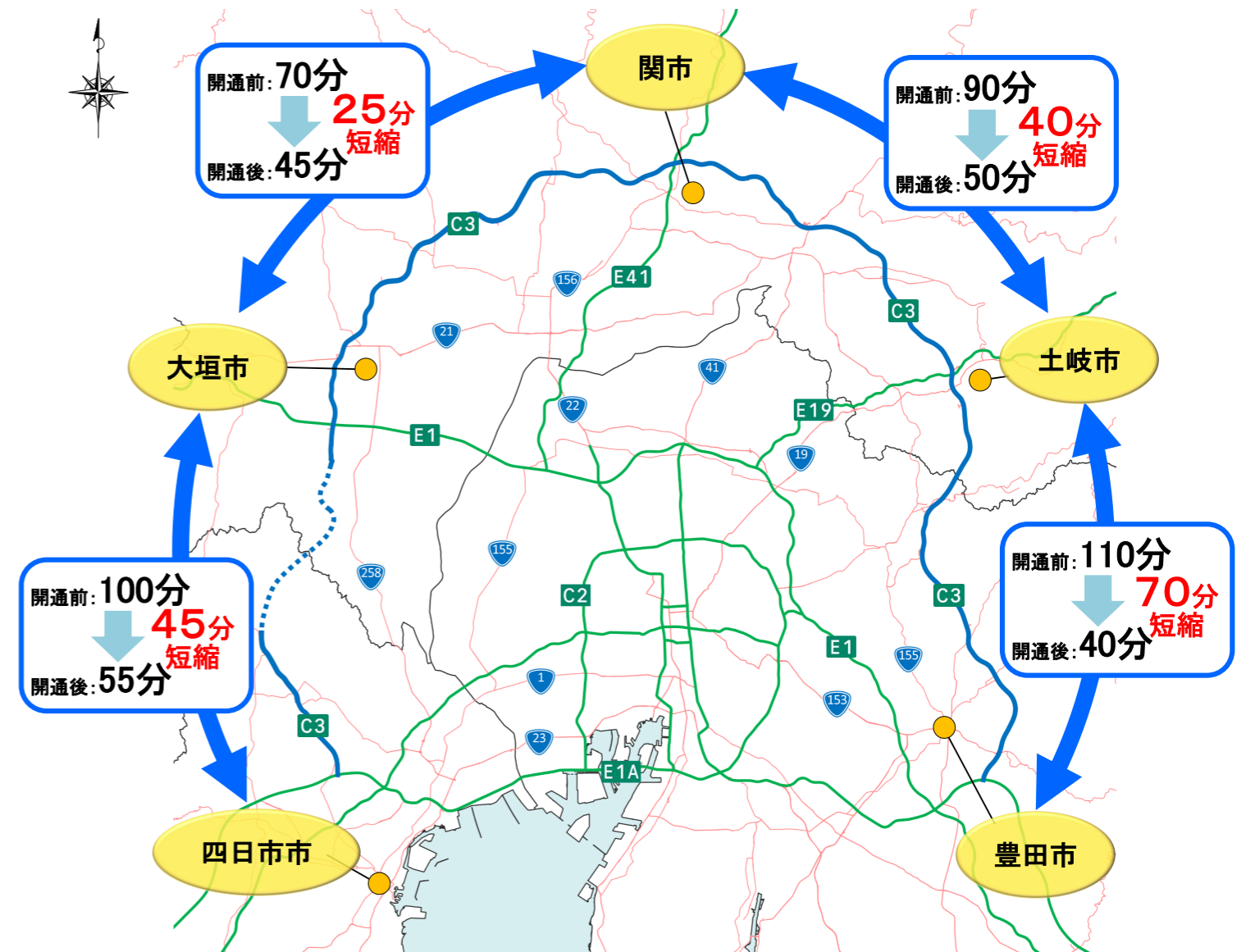


※ () 書きのIC名称は仮称

## 沿線都市間の所要時間が短縮

○東海環状自動車道の整備により、沿線都市間の所要時間が短縮。  
 ○中京圏の諸都市が連結されることにより、利便性が向上。

### 東海環状自動車道全線開通後の沿線都市間の所要時間



※図内時間は各市役所間の所要時間  
 ※開通後は、全線開通後を指す  
 出典:【東回り】開通前:走行速度調査結果(2004.10~12)を用いて算出。アクセス道路は30km/hとして算出。開通後:東海環状自動車道は規制速度(70~100km/h)、アクセス道路は30km/hとして算出。  
 【西回り】開通前:H22道路交通センサスの平均旅行速度(市道等は30km/h)を用いて算出。開通後:東海環状自動車道は規制速度(70~100km/h)、アクセス道路は30km/hとして算出。

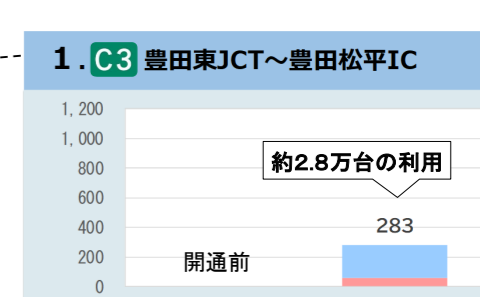
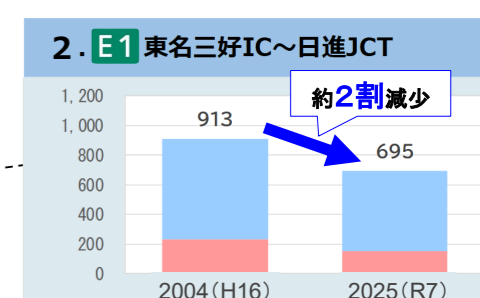
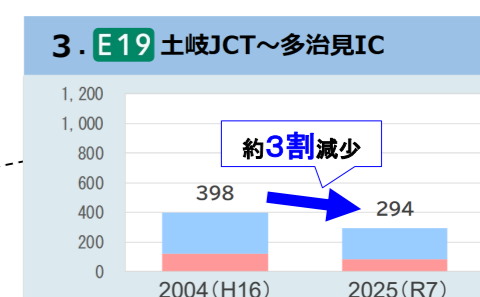
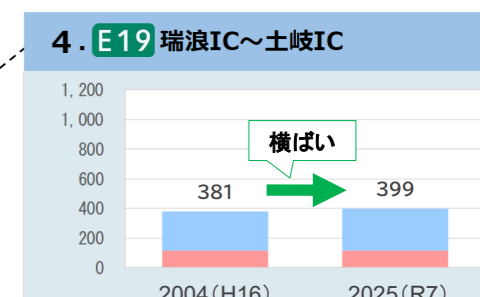
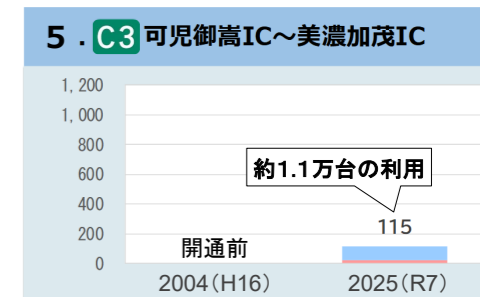
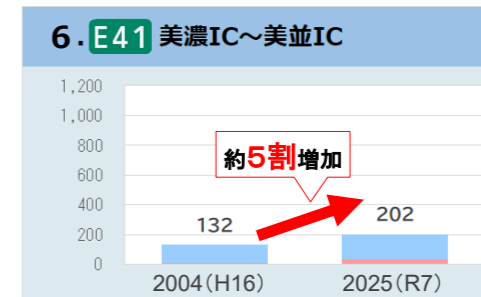
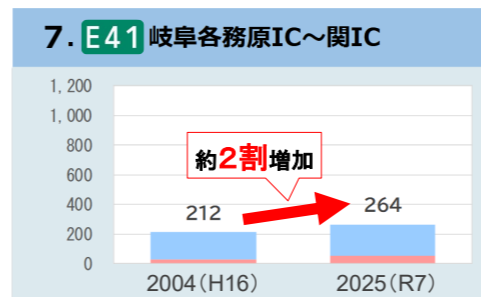
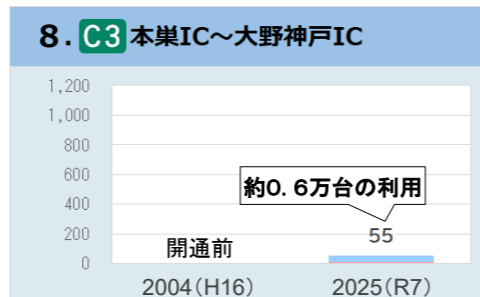
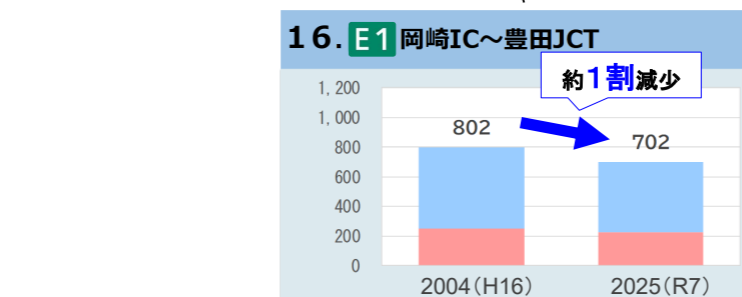
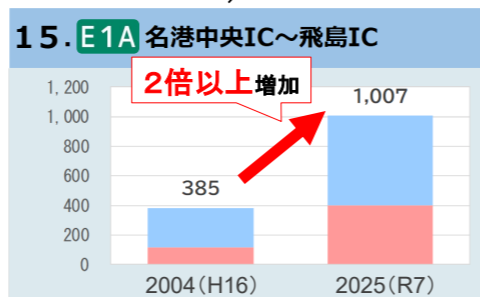
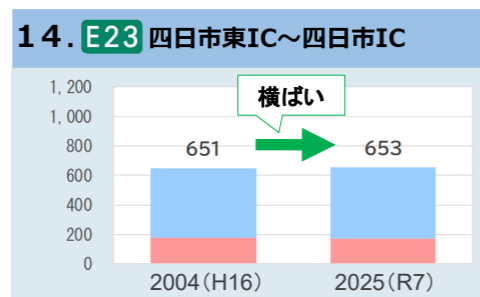
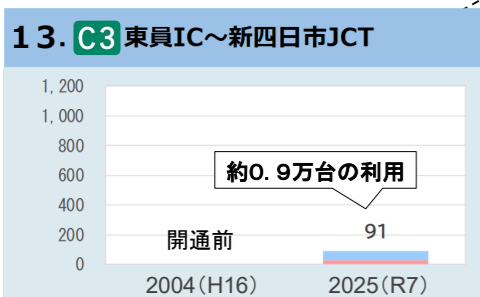
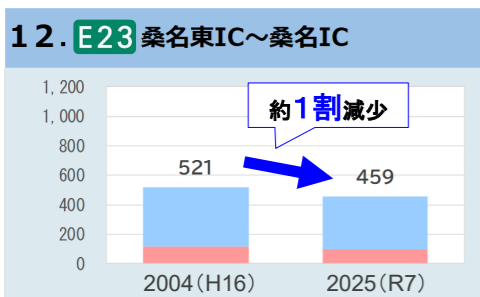
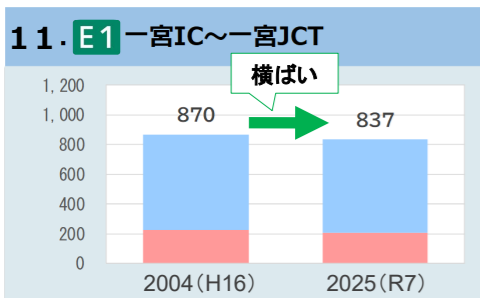
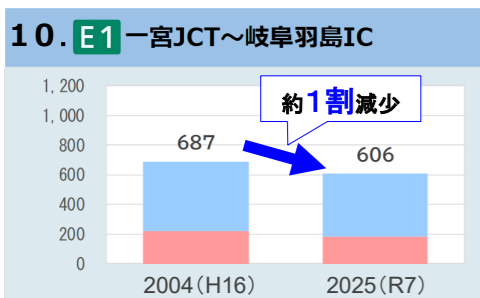
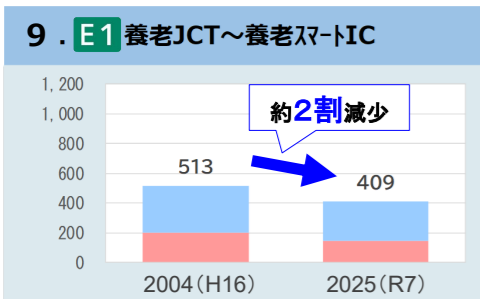
# <20年の道路ネットワークと交通の変化>

## 中京圏の交通分散に寄与

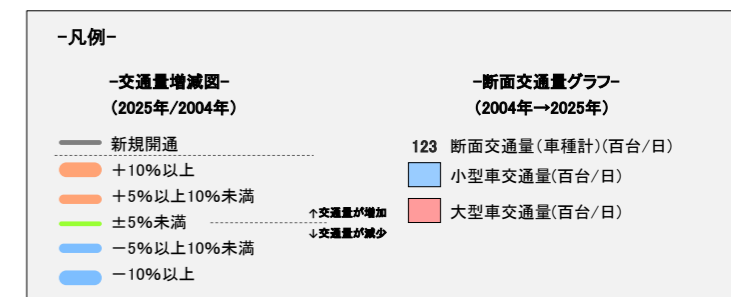
○東海環状自動車道等の道路ネットワークの整備の進展により、東名高速道路、名神高速道路、中央自動車道、東名阪自動車道、名古屋第二環状自動車道の交通量が減少し、**交通分散に寄与**。

○伊勢湾岸自動車道(2005年3月全線開通)、東海北陸自動車道(2008年7月全線開通)は、交通量が増加。

### 断面交通量の増減(2004年→2025年)



※道路ネットワークは2025年時点



出典：NEXCO中日本資料